

総合医療学部 理学療法学科 カリキュラム・マップ

養成する人材像

地域で生活するあらゆる世代の人々が、その人らしく健康を維持・増進しながら、必要に応じて効果的な医療サービスを受け、可能な限り自立した生活ができるよう、健康から疾病の回復に至るまで連続的な視点で捉え、科学的根拠に裏づけされた専門的知識・技術を備えた専門職者 (Evidence-Based Practitioner) を育成する。さらに、高齢化が進む地域医療等の現場において、住民の真の声に耳を傾け、きめ細かな地域ニーズを調査できる人材、また、課題解決に向けた具体的な計画を立案し、着実に実施できる人材を育成する。

ディプロマポリシー

1. 幅広い教養と理学療法における専門的な知識・技能を身につけている。(総合医療学部DP1に対応)	2. 広い視野をもち、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。(総合医療学部DP2に対応) 3. 健康・医療に関わる課題を解決するために、理学療法の専門的な過程を用いて根拠に基づき、優れた理学療法技術を駆使して日常生活活動に関わる基本動作や身体能力の維持・改善に対する支援をするために必要な科学的思考力、判断力、表現力を身につけている。(総合医療学部DP2に対応)	4. 健康・医療に関わる理学療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって主体的かつ能動的に学修する態度を身につけている。(総合医療学部DP3に対応) 5. 円滑なコミュニケーションをとりながら、多様な人々と協働することができる。(総合医療学部DP4に対応)
---	--	---

4年	後期			理学療法セミナーⅡ	卒業研究Ⅱ
	前期			理学療法セミナーⅠ	卒業研究Ⅱ 臨床実習Ⅱ
3年	後期	臨床心理学		運動器・スポーツ理学療法学Ⅱ、神経機能理学療法学Ⅱ 内部障害理学療法学Ⅱ、発達と理学療法学Ⅱ、リスク管理論	卒業研究Ⅰ、評価学実習 臨床実習Ⅰ、臨床能力演習
	前期	高次脳機能障害学		内部障害理学療法学Ⅰ、発達と理学療法学Ⅰ 臨床推論演習、物理療法Ⅱ、徒手理学療法学、義肢学演習 地域理学療法学演習、生活環境学、チーム医療演習	卒業研究Ⅰ、理学療法教育学 理学療法教育学と生涯学習、評価学実習 臨床能力演習
2年	後期	薬理学 救急処置法 小児科学 公衆衛生学 内科学		運動器・スポーツ理学療法学Ⅰ、神経機能理学療法学Ⅰ 物理療法Ⅰ、装具学演習 地域理学療法学、日常生活活動分析学演習	臨床教育と管理 地域包括ケアシステム実習
	前期	病理学 神経内科学 整形外科学 精神医学	人体の機能演習 運動学演習 感覚運動測定演習	運動療法学総論 基礎理学療法評価学 専門理学療法評価学	科学的根拠に基づく実践
1年	後期	人体の構造Ⅲ 人体の構造Ⅳ 人体の機能Ⅱ 運動学 日本語B メディカルテクノロジー基礎 人間発達学	関節運動測定演習 人体の構造演習		見学実習
	前期	人体の構造Ⅰ 人体の構造Ⅱ 人体の機能Ⅰ 生物統計学 日本語A 英語A 英語B スマートテクノロジー基礎		理学療法学概論 リハビリテーション概論 社会福祉学概論	フレッシュヤーズセミナー

一般教養科目(語学科目群・教養科目群・グローバル展開科目群・連携科目群)

知識	技能	思考力	判断力	表現力	態度(主体性・多様性・協働性)
----	----	-----	-----	-----	-----------------

カリキュラム・ポリシー

1. 幅広い教養を身につけるために、初年次教育科目、一般教養科目を設け、講義科目・演習科目等を配置する。(理学療法学科DP1に対応) 2. 理学療法における基本的な知識・技能を身につけるために、専門教育科目に専門基礎科目を設けるとともに、専門的な知識・技能を身につけるために専門科目を設け、講義科目・演習科目を体系的に配置する。(理学療法学科DP1に対応)	3. 広い視野とリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観、優れた理学療法技術を駆使するために必要な科学的思考力、判断力、表現力を身につけるために専門教育科目の各科目区分の中に、講義科目・演習科目をバランスよく設け、体系的に配置する。(理学療法学科DP2、3に対応)	4. 生涯にわたって主体的かつ能動的に学修する態度、および円滑なコミュニケーションをとりながら、多様な人々と協働する態度を身につけるために、専門教育科目の各科目区分の中に講義科目・演習科目・実習科目をバランスよく設け、体系的に配置する。(理学療法学科DP4、5に対応)
---	---	--

アドミッション・ポリシー

1. 高等学校段階までに身につけるべき基礎的・基本的な知識・技能を身につけている人(理学療法学科CP1、2に対応) 2. 「国語」または「英語」を通して、聞く・話す・読む・書くことの基本的な能力を身につけている人(理学療法学科CP1、2に対応)	3. 社会の様々な問題に対して、知識・技能や情報をもとにして、筋道を立てて考える力、判断する力、表現する力を身につけている人(理学療法学科CP3に対応)	4. ものごとに対して主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む態度が身についている人(理学療法学科CP4に対応) 5. 理学療法士の社会的使命や役割に関心を持ち、他者への思いやりと熱意をもって社会貢献しようとする意欲のある人(理学療法学科CP4に対応) 6. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などの経験があり、他者とコミュニケーションをとりながら協力して課題をやり遂げることができる人(理学療法学科CP4に対応)
---	--	--